

令和6年度の活動は、「手ながエビつり」を悪天候により、やむなく中止しましたが、その他は全て計画どおりに終わることが出来ました。特に夏休みに開催した「宿題グングン進む2 days」におきましては、中高生ボランティアをはじめ、地域の皆様のご協力をいただき大変充実した事業となりました。また「朝のあいさつ運動」では、早朝にも関わらずご協力いただきましたこと、改めて感謝を申し上げます。これからも青少協では、子どもたちの健やかな成長の一助となるよう活動を続けていきたいと思っております。地域の皆様の益々の協力とご支援をいただきますようお願い申し上げます。

成徳地区青少年健全育成協議会 会長 柳川 浩

青少年健全育成事業



宿題グングンすすむ2 days

◆実施日：令和6年8月5日（月）・6日（火）

◆場 所：成徳コミュニティセンター

夏休みの課題、書道をする児童の支援をしました。算数は、分からないところが出てきて、手が止まってしまう子どももいましたが、高校生が笑顔で「どうしたの？」と優しく声をかけ、一緒に考えながらわかりやすくアドバイスしてくれたので「あっ、そうか、分かった」と言いながらその日の目標まで進んでいました。上学年は、自分たちでできるところはどんどん進んでいき、困ったときには高校生に聞いて、しっかり学習に取り組むことができました。書道は、筆使い、筆の運び、墨の濃さや付け方、筆の曲がり具合によってなかなか思うようには書けませんでした。手本をよく見ながら思い思いの作品を仕上げることができました。

昼食は、1日目はカレー、2日目は三色丼をみんなで楽しそうに食べていました。午後は「モルック」を体験。初めての児童ばかりでしたが、説明をしっかりと聞いて、みんなで盛り上がり楽しむことができました。

青少協理事



食生活改善推進員、体育振興会、地域のボランティアの皆さん、ご協力ありがとうございました。

ふれあいホリデーを楽しもう 子どもの防災教室

◆実施日：令和6年11月22日（金）

◆場 所：成徳コミュニティセンター

鳥取大学のご協力により、防災labに取り組む学生さんに日頃からの防災対策を教わりました。「人は1日にどれくらいの水を飲むでしょう？」「何回くらいトイレに行くでしょう？」などのクイズに答えながら楽しく防災の知識を学びました。「新聞紙スリッパ」「ゴミ袋ポンチョ」の他、災害時に役立つグッズを詰め込んだ「防災ボトル」を作りました。「人間は災害を止める事は出来ないけれど、日頃の準備で被害を小さくすることは出来るよ！」と「備え」の大切さを教えて頂きました。小さな積み重ねかもしれませんが、改めて子どもの防災教育の大切さを実感しました。当日は地区の防災リーダーさんも一緒に活動をしていただきました。ありがとうございました。



小鴨地区青少年育成協議会副会長の高橋義博さんをお迎えして講演会を開催しました。これまで高橋さんが経験されたPTA活動、青少協での活動体験を振り返ってお話されました。小鴨地区の様々な活動の中で、小学生が3泊4日間合宿しながら通学する事業「セカンドスクール」についてのお話がありました。最初の立ち上げに関わり、コロナで中断されたセカンドスクールを昨年復活させた経緯の中で、協力者を集めることの難しさに触れつつ、子どもたちのために地域住民や保護者など多くの人が関わっていくことの素晴らしさを語っておられました。講演の後、参加者はグループに分かれて今後の地域のあり方、どんなことが出来るのか、子どもたちの健やかな成長を願う思いなどを話し合いました。



青少協理事 山口明茂



参加者の感想から

- ・保護者をもっと参加できる方法、地域の方と交流を持てる方法を考えたい。
- ・保護者（PTA役員）の役割を明確化し具体的に伝えることが必要ではないか。
- ・事業を実行することの難しさを知った。今後地域の人間としてしっかり参加・協力していきたい。

白壁・玉川あいさつ運動



◇朝のあいさつ運動◇ 各学期の始業式に合わせて、打吹小学校、東中学校の校門前にてあいさつ運動を実施しました。2学期には自治公社会部も参加。東中学校では、学友会メンバーと一緒に活動しました。



打吹小学校



東中学校

令和6年度鳥取県地域防犯研修会に会員が参加

講演「子どもを守るために地域でできること」
子どもの危険回避研究所 所長 横矢真理さん

講演では、問題になっている闇バイトにも触れ、子どもを被害者にも加害者にもさせないためには、想像力とコミュニケーション能力を育み、危険に直面した時に、臨機応変に対応できる大人に育つようサポートしていく。嫌な事、怖い事があつたらすぐに逃げ、家族や先生に話せる体制をとっておくことなど、地域の防犯対策はもとより、今の時代に合わせた子育てについても学べた有意義な講演会でした。

令和6年11月8日（金）

「子どもたちを犯罪や事故、災害から守るには」

- ①環境づくり。
- ②子どもの危険回避能力を向上させる。
- ③守りたいという気持ちを伝え続ける。

「地域で出来ること」

犯罪者を侵入させない環境と、犯罪を起こしにくい環境を作る。そのためには、ゴミや落書きを放置しない。花を飾って侵入を許さないなど地域の縄張り意識をアピールする。

◇土曜夜市パトロール◇

令和6年7月27日（土）
青少協理事が、会場周辺でパトロールを行いました。



◇ながら見守り◇活動継続中!!

ながら見守りとは…地域の皆さんに児童の登下校の時間に合わせて、家の外へ出ていただき、花の水やりペットの散歩などをしながら、子どもたちの交通安全や防犯対策のため見守りや声掛けをしていただく活動です。
地域の皆様のご協力をお願いします。



一緒に活動しませんか！青少協では、こんなことやってほしい！協力してほしい！などのご相談や、得意分野を活かして子どもと一緒に活動したい方を募集しています。お問い合わせは、青少協事務局：成徳コミュニティセンターへ

TEL：22-1301 FAX：23-3653 mail：koseitok@ncn-k.net